

根室市新ごみ処理施設整備・運営事業
審査講評

令和 7 年 2 月

根室市新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会

第1 事業の概要.....	1
1 事業名称.....	1
2 対象となる公共施設の種類.....	1
3 事業の概要.....	1
(1) 本施設の設計・建設業務.....	1
(2) 本施設の運営に係る業務.....	1
(3) 施設の概要.....	1
4 事業の目的.....	1
5 事業方式.....	1
6 業務範囲.....	1
(1) 事業者が行う主な業務.....	1
(2) 市が行う主な業務.....	2
(3) 事業者の収入(市からの支払い分).....	2
第2 事業者の選定方法等.....	3
1 事業者の選定方法.....	3
2 事業者の募集・選定スケジュール.....	3
3 根室市新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会の設置.....	3
4 事業者選定委員会の開催経過.....	4
5 最優秀提案者選定の手順.....	4
第3 審査方法.....	5
1 参加資格審査.....	5
2 提案書の基礎審査.....	5
3 提案書の定量化審査.....	5
(1) 提案書における審査項目及び配点.....	5
(2) 事業提案に関する得点化方法.....	6
4 入札価格の定量化審査.....	6
(1) 入札価格に関する得点化方法.....	6
5 総合評価値の算定方法.....	6
第4 審査結果.....	7
1 参加資格審査.....	7
2 提案審査.....	7
(1) 提案書の基礎審査.....	7
(2) 提案書に関するヒアリング及び定量化審査.....	7
(3) 入札価格の定量化審査.....	8
(4) 総合評価値の算出.....	8
3 最優秀提案者の選定.....	8
4 審査の講評.....	9
第5 総評.....	11

第 1 事業の概要

1 事業名称

根室市新ごみ処理施設整備・運営事業

2 対象となる公共施設の種類

一般廃棄物処理施設

3 事業の概要

(1) 本施設の設計・建設業務

事業予定地：根室市幌茂尻 70 番地 5

工事内容：ごみ焼却処理施設（以下「本施設」という。）の設計・建設

設計・建設期間：契約締結日から令和 10 年 9 月 30 日までの約 3 年 6 ヶ月間

(2) 本施設の運営に係る業務

委託内容：運転・維持管理、環境管理、防災管理、情報管理、その他関連業務

委託期間：令和 10 年 10 月 1 日から令和 30 年 3 月 31 日までの 19 年 6 ヶ月間

(3) 施設の概要

ごみ処理方式：焼却処理 ストーカ式（全連続式）

処理能力：44t/日（22t/日×2 炉）

処理対象物：燃やせるごみ、肉骨粉、産業廃棄物

4 事業の目的

本事業は、根室市及び浜中町から排出される可燃ごみを将来にわたり安全で安定した適正処理を行うため、民間事業者の技術力及び運営能力等を活用することにより、本施設の効率的かつ効果的な設計・建設及び運転・維持管理を行うことを目的とする。

5 事業方式

本事業は、DBO（Design：設計、Build：建設、Operate：運営）方式により実施する。

根室市（以下「市」という。）は、本施設を所有し、落札者の構成員、協力企業及び特別目的会社（落札者の構成員の出資により本事業の運転・維持管理業務の実施のみを目的として設立される特別目的会社。以下「運営事業者」という。）を選定事業者（以下「事業者」という。）として本施設の設計・建設業務及び運転・維持管理業務（以下「運営業務」という。）に係る本事業を一括して行うものとする。

6 業務範囲

(1) 事業者が行う主な業務

ア 設計・建設業務

(ア) 事前調査

施設整備を行う上で必要となる調査、関係機関との協議等を行う。

(イ) 設計・建設

本施設の設計、建設工事業務（許認可申請、施設の試運転、引渡性能試験等を含む。）を行う。

イ 運営業務

(ア) 運転管理業務

処理対象物、最終処分物等を搬入・搬出する車両の受付、計量、記録等を行う。

一般持込車両に対してルートと処理対象物の荷下ろし場所について案内・指示を行う。

許可業者及び一般持込車両等から市が定めるごみ処理手数料を徴収する。関係法令、施設の公害防止基準等を遵守し、搬入された処理対象物を適正に処理する。

本施設より発生する焼却灰、飛灰処理物等が関係法令、公害防止基準等を満たすように適正に処理する。

また焼却灰、飛灰処理物を最終処分場へ運搬する。

(イ) 維持管理業務

本施設の基本性能を運営期間中維持するために必要な点検・整備、補修、更新等を行う。

(ウ) 環境管理業務

運営時の環境保全、環境測定、作業環境の保全を行う。

(エ) 防災管理業務

災害、機器の故障、停電等の緊急時における適切な対応等を行う。

(オ) 情報管理業務

本施設に関する各種マニュアル、図面及び運転記録等を運営期間にわたり適切に管理する。

(カ) その他業務

周辺住民等の近隣対応や見学者対応、清掃、除雪、植栽管理等を行う。

(2) 市が行う主な業務

ア 用地の確保

本事業を実施するための用地を確保する。

イ 設計監理及び工事監理

本施設の設計・建設期間を通じ、本事業に係る監督員を配置して設計についての承諾を行うとともに、工事監理を行う。

ウ 周辺住民への対応

本施設の事業期間における周辺住民からの意見や苦情に対する対応を事業者と連携して行う。

エ 本事業に必要な行政手続き

本事業を実施する上で必要な手続きを行う。

オ 運営モニタリング

運営事業者の業務の実施状況について運営モニタリングを行う。

カ 処理対象物の搬入

処理対象物を本施設に搬入する。

キ 焼却灰及び飛灰処理物の埋立処分

焼却灰及び飛灰処理物を市の最終処分場において埋立処分する。

(3) 事業者の収入(市からの支払い分)

ア 設計・建設業務に係る対価

市は、本事業の設計・建設業務に係る対価について、建設事業者に支払う。

イ 本施設の運営業務に係る対価

市は、本施設の運営業務に係る対価について、運営事業者に支払う。なお、物価変動に基づき年1回見直しのための確認を行い、必要に応じて改定を行う。

第2 事業者の選定方法等

1 事業者の選定方法

本事業は、設計・建設段階から運営段階までの各業務を通じて、事業者に効率的かつ効果的なサービスの提供を求めるものである。したがって、落札者の決定方法については、入札価格のほか、設計・建設及び運転・維持管理の提案内容、市の要求水準との適合性、事業計画の妥当性、確実性等の各面から総合的に評価する総合評価一般競争入札を採用した。

予定価格の制限の範囲内で、入札説明書及び要求水準書等で指定する性能等の要求水準を満たしている提案をした入札参加者の中から、最優秀提案者を市に報告し、これを踏まえて市が落札者を決定することとした。

2 事業者の募集・選定スケジュール

本事業における事業者の募集・選定スケジュールは、以下のとおりである。

日程	内容
令和6年7月26日(金)	入札公告 入札説明書等（入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、様式集、基本協定書（案）、基本契約書（案）、建設工事請負契約書（案）、運営業務委託契約書（案））の公表
令和6年7月26日(金) ～8月9日(金)	入札説明書等に関する質問受付(第1回)
令和6年8月30日(金)	入札説明書等に関する質問回答(第1回)
令和6年9月6日(金)	参加表明書及び資格審査申請書類の受付
令和6年9月20日(金)	資格審査結果の通知
令和6年9月24日(火) ～9月27日(金)	資格審査結果に関する説明要求の受付、回答
令和6年9月30日(月) ～10月4日(金)	入札説明書等に関する質問受付（第2回）
令和6年10月18日(金)	入札説明書等に関する質問回答（第2回）
令和6年11月29日(金)	入札提出書類（入札書及び提案書）の受付
令和6年12月23日(月)	提案書に関するヒアリング、審査、開札
令和7年1月20日(月)	落札者の決定及び公表
令和7年1月頃	基本協定締結
令和7年1月頃	事業契約仮契約締結
令和7年3月頃	事業契約成立

3 根室市新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会の設置

公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者2名を含む6名の委員により構成される根室市新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）を設置した。なお、構成委員は以下のとおりである。

職 名	氏 名	所属・役職
委員長	竹本 勝哉	根室市副市長
副委員長	中村 健悦	根室市市民生活部長
委員	織田 敏史	根室市総務部長
委員	伊東 英輔	根室市建設水道部長
特別委員	東條 安匡	北海道大学大学院工学研究院 環境工学部門 准教授
特別委員	吉田 英樹	室蘭工業大学大学院工学研究科 もの創造系領域土木工学ユニット 准教授

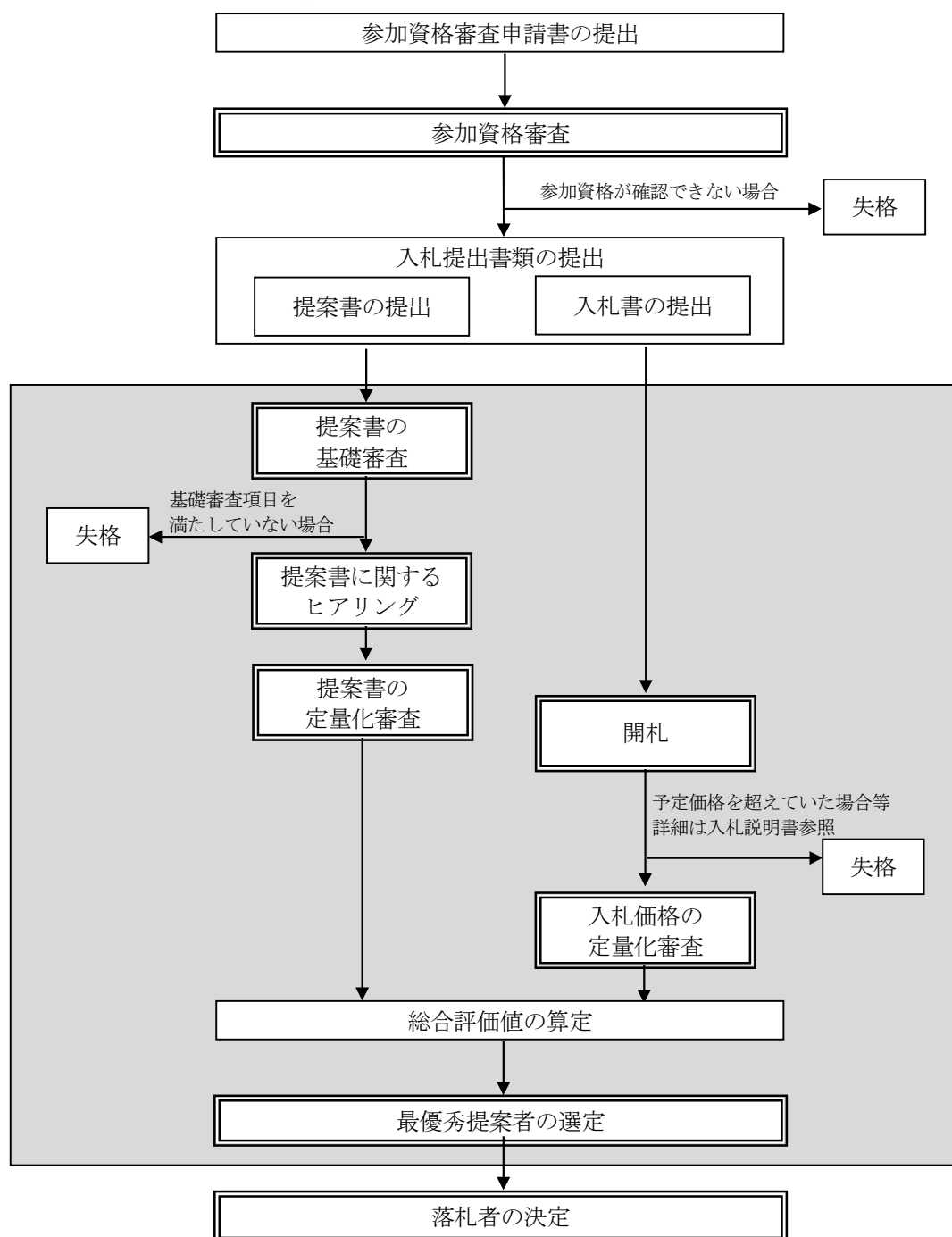
4 事業者選定委員会の開催経過

事業者選定委員会の開催経過は以下のとおりである。

日程		概要
第1回	令和6年6月6日(木)	・事業概要の説明 ・実施方針(案)について
第2回	令和6年7月17日(水)	・入札公告書類について ・落札者決定基準について
第3回	令和6年12月23日(月)	・提案書に関するヒアリング ・最優秀提案者の選定

5 最優秀提案者選定の手順

最優秀提案者の選定に向けた審査の流れは以下のとおりである。



※最優秀提案者を選定する事業者選定委員会の事務は図中網掛け部分

第3 審査方法

1 参加資格審査

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認した。

2 提案書の基礎審査

事業者選定委員会事務局は、提案書等に記載された内容が落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認した。審査項目及び確認内容は以下のとおりである。

審査項目	内容
提案書等の確認	・提出された提案書等がすべて揃っていること。
提案書の基礎審査	ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。 イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。 ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

3 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

審査項目及び配点については、以下のとおりである。

審査項目			配点	
大項目	中項目	小項目		
1. 設計・建設業務及び運営業務に関する事項			55	
	(1) 安全で安定性に優れた施設	①基本性能の維持	6	19
		②処理システムの信頼性	4	
		③配置動線計画	6	
		④設計・建設及び運営の実績	3	
	(2) 環境にやさしく、脱炭素・循環型社会を推進する施設	①施設建設計画	4	19
		②環境保全	6	
		③脱炭素・循環型社会の推進	4	
		④環境教育	5	
	(3) 災害に強い施設	①災害対応力の強靱化	4	13
		②災害発生時の処理継続性の確保	4	
		③火災への対応性	5	
	(4) 効率性に優れた施設	①処理・管理の効率性	4	4
2. 事業計画に関する事項			15	
	(1) 運営体制	①組織体制	3	3
	(2) 経営計画・事業収支計画	①事業の継続性	4	4
	(3) リスク管理	①リスクの管理及び対処方法	4	4
	(4) 地域貢献	①地域経済への配慮	4	4
事業提案に関する得点			70	

(2) 事業提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、以下の５段階評価による得点化方法により得点を付与した。

評価	選 定 基 準	得点化方法
A	大変優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である	配点×0.0

イ 各審査項目の評価点については、以下の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とした。なお、平均値を求める際は、小数第３位を四捨五入した値とした。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出した。

算定式①【事業提案の得点算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) = \frac{\Sigma (\text{各審査項目の配点} \times \text{選定基準})}{\text{委員人数 (6名)}}$	

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格については、以下の算定式②により得点を付与した。なお、得点は、小数第３位を四捨五入した値とした。

算定式②【入札価格の得点算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 30 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$	

5 総合評価値の算定方法

「3 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、以下の算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算出した。

算定式③【総合評価値の算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right)$	

第4 審査結果

1 参加資格審査

令和6年7月26日に入札公告を行い、令和6年9月6日を期限に参加資格審査申請を受け付けたところ、1グループより、入札参加表明があった。

市は、入札参加希望者が提出した参加資格審査申請書により、入札説明書に記載した入札参加者が備えるべき参加資格要件を満たしていることを確認した。

グループ名	カナデビア E&E グループ
代表企業	カナデビア E&E 株式会社 東京支店
構成員	カナデビア北海道サービス株式会社
協力企業	萩原建設工業株式会社
	株式会社テラジマ
受付グループ名	千島桜グループ

2 提案審査

(1) 提案書の基礎審査

令和6年11月29日を期限に提案書等を受け付けたところ、参加資格審査を通過した1グループより、入札提出書類が提出された。

事業者選定委員会事務局は、提出された提案書について、落札者決定基準に示す基礎審査項目に沿って基礎審査を行い、提案書等を提出した1グループは、市が要求する水準を満足していることが確認されたため、基礎審査を合格しているものと認めた。

(2) 提案書に関するヒアリング及び定量化審査

令和6年12月23日、第3回事業者選定委員会を開催し、提案書を提出した入札参加者に対しヒアリングを行い、提案書の審査を行った。

審査結果は、以下のとおりである。

審査項目			配点		得点 千島桜グループ	
大項目	中項目	小項目				
1. 設計・建設業務及び運営業務に関する事項			55		38.68	
	(1)安全で安定性に優れた施設	①基本性能の維持	6	19	4.75	14.25
		②処理システムの信頼性	5		3.00	
		③配置動線計画	6		4.25	
		④設計・建設及び運営の実績	3		2.25	
	(2)環境にやさしく、脱炭素・循環型社会を推進する施設	①施設建設計画	4	19	2.67	12.30
		②環境保全	6		3.50	
		③脱炭素・循環型社会の推進	4		3.00	
		④環境教育	5		3.13	
	(3)災害に強い施設	①災害対応力の強靱化	4	13	3.33	9.63
		②災害発生時の処理継続性の確保	4		3.17	
		③火災への対応性	5		3.13	
	(4)効率性に優れた施設	①処理・管理の効率性	4	4	2.50	2.50

審査項目			配点		得点 千島桜グループ	
大項目	中項目	小項目				
2. 事業計画に関する事項			15		9.50	
	(1) 運営体制	① 組織体制	3	3	2.00	2.00
	(2) 経営計画・事業収支計画	① 事業の継続性	4	4	2.50	2.50
	(3) リスク管理	① リスクの管理及び対処方法	4	4	2.50	2.50
	(4) 地域貢献	① 地域経済への配慮	4	4	2.50	2.50
事業提案に関する得点			70		48.18	

(3) 入札価格の定量化審査

提案書等を提出した入札参加者及び事務局の立会のもとで令和6年12月23日に開札し、入札価格が入札書比較価格を超えておらず、かつ、入札価格の内訳である設計・建設業務に係る対価の内訳額及び運営業務に係る対価の内訳額が入札書比較価格におけるそれぞれの金額を超えていないことを確認した。

入札価格の定量化審査結果は、以下のとおりである。

項目	得点	千島桜グループ
代表企業名	—	カナデビア E&E 株式会社 東京支店
入札価格（税抜）	—	17,880,000,000 円
設計・建設業務に係る対価の内訳額	—	8,000,000,000 円
運営業務に係る対価の内訳額	—	9,880,000,000 円
入札価格に関する得点	30.00	

※入札書比較価格	17,918,000,000 円
設計・建設業務に係る対価の内訳額	8,009,000,000 円
運営業務に係る対価の内訳額	9,909,000,000 円

(4) 総合評価値の算出

「事業提案に関する得点」と「入札価格に関する得点」を合計し、以下のとおり総合評価値を算出した。

項目	配点	千島桜グループ
代表企業名	—	カナデビア E&E 株式会社 東京支店
事業提案に関する得点	70	48.18
入札価格に関する得点	30	30.00
総合評価値	100	78.18

3 最優秀提案者の選定

事業者選定委員会は、上記の結果に基づき、「千島桜グループ（代表企業名：カナデビア E&E 株式会社 東京支店）」を最優秀提案者として選定した。

4 審査の講評

各審査項目における講評は以下のとおりである。

審査項目			講評
大項目	中項目	小項目	
設計・建設業務及び運営業務に関する事項			
	安全で安定性に優れた施設	基本性能の維持	・寒冷地対策や塩害対策について、設計面及び運営面の優れた工夫がされている。 ・施設の維持を考慮した経済性に優れた点検、検査、補修、更新等が計画されている。 ・運営期間終了後も本施設での処理が可能な長寿命化対策がなされている。
		処理システムの信頼性	・ごみ量やごみ質の変動に対して安定した処理が行える設計提案がなされている。 ・非常時における一次災害・二次災害を防止する工夫がされている。
		配置動線計画	・利便性と安全性に配慮した配置動線計画となっている。 ・車両渋滞時の対策を考慮した配置計画となっている。
		設計・建設及び運営の実績	・多くの設計・建設及び運営の実績を有している。
	環境にやさしく、脱炭素・循環型社会を推進する施設	施設建設計画	・建設工事期間中の周辺環境保全に配慮した対策が計画されている。 ・周辺景観や自然環境に調和した施設計画となっている。
		環境保全	・排ガス基準を遵守するための優れた対策が計画されている。 ・環境保全に向けた優れた騒音・振動・悪臭の抑制・低減対策が計画されている。
		脱炭素・循環型社会の推進	・高い熱回収率を実現する安定した熱回収・余熱利用が計画されている。 ・省エネルギー・脱炭素化のための様々な工夫がされている。
		環境教育	・見学者の年齢や立場等に配慮した優れた提案がなされている。 ・環境学習・環境啓発への期待ができる様々な方策が計画されている。
	災害に強い施設	災害対応力の強靱化	・施設の強靱化について、設計面及び運営面の優れた工夫がされている。 ・災害発生時における施設の安全停止及び早期再稼働に向けた優れたシステムが構築されている。
		災害発生時の処理継続性の確保	・災害に備えた用役等の貯留や調達先の確保に向けた計画がなされている。 ・災害発生時における搬入道路の確保やごみ搬入の継続に向けた様々な計画がなされている。
		火災への対応性	・火災発生時における優れた対策等が計画されている。 ・リチウム電池等の混入防止について様々な対策が講じられている。

審査項目			講評
大項目	中項目	小項目	
設計・建設業務及び運営業務に関する事項			
	効率性に優れた施設	処理・管理の効率性	・資源物搬出入車両について、効率的な動線が計画されている。 ・効率的な施設管理ができる優れた配置動線計画となっている。
事業計画に関する事項			
	運営体制	組織体制	・実績に基づく運営管理体制が構築されており、適切な人員配置となっている。 ・運転員の習熟度強化に向けた適切な取り組みが計画されている。
	経営計画・事業収支計画	事業の継続性	・安定かつ経済性に優れた事業計画が立案されている。 ・長期にわたる事業の継続性が担保される計画となっている。
	リスク管理	リスクの管理及び対処方法	・リスク管理方法や緊急時における対処について、優れた工夫がされている。 ・充実した保険付保による事業継続性が担保される計画となっている。
	地域貢献	地域経済への配慮	・地元企業の活用及び地元調達に最大限の配慮がなされた計画となっている。 ・地元人材の確保及び教育等について配慮がなされ、優れた計画となっている。

第5 総評

今回、入札参加者が1グループのみであったことは残念であるが、当該グループの提案は、本事業の目的や業務内容について市が要求する水準を上回る内容であった。入札参加者は、提案書の作成やプレゼンテーション準備等において多大な労力及び費用負担があったことが推察される。そうした中で提案をとりまとめられた入札参加者の熱意に敬意を表するとともに感謝する。

事業者選定委員会では、落札者決定基準に基づき、技術提案やヒアリング内容を踏まえた提案書の評価及び入札価格の評価を公正かつ厳正に審査した結果、千島桜グループ（代表企業名：カナデビア E&E 株式会社 東京支店）を最優秀提案者として選定した。

千島桜グループの提案は、市が掲げた施設整備の基本方針である「安全で安定性に優れた施設」、「環境にやさしく、脱炭素・循環型社会を推進する施設」、「災害に強い施設」、「経済性や効率性に優れた施設」を十分に実現することが可能であると判断した。

特に評価が高かった項目は、「安全で安定性に優れた施設」であった。

事業者選定委員会の審査においては、上記事項を評価した一方で、事業の実施にあたっては、次の事項に配慮するよう要望する。

- ① 将来のごみ量の変動やごみ質の変化にも柔軟に対応し、安定的な稼働を継続すること。
- ② 追加で行うボーリング調査の結果を踏まえ、レイアウト変更が必要となった場合には改めて最適な計画案を提案すること。
- ③ 施設内から海側への眺望を確保し、市民をはじめ訪れる多くの人が美しい景観を享受できる施設とすること。
- ④ 計画通りに省エネルギーや脱炭素化に向けた取組みを行うこと。

最後に、本事業を通して千島桜グループには、市や地域との信頼関係を築きながら本事業を計画的かつ円滑に進めていただくとともに、上記要望事項については、本事業をより良いものとするを前提に市と十分に協議を行い、真摯な対応に努め、将来にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待する。

根室市新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会
委員長 竹本 勝哉